

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
文学Ⅱ	今本 幸平	講義	2		2	3	3
授業概要 授業目的	この講義ではドイツ語圏の文学作品を取り上げます。難しそうな印象があるかもしれませんが、文学の読み方に正解はないので、皆さんの理解が及ぶ範囲で、等身大の読み方をしてください。講義では文学を少しでも身近に感じてもらえるように、適宜画像や音声などの資料も使い、作者、当時の社会背景、文化などの周辺の事柄も視野に入れて、作品の紹介をしていきます。						
到達目標	①文学作品に親しみ、読書を楽しめるようになる。 ②読んだ作品に対する感想や意見を自分の言葉で伝えられるようになる。						
回	学習内容						
1	ガイダンス（講義概要説明、イタロ・カルヴィーノ「なぜ古典を読むのか」）						
2	ゲーテ『若きウェルテルの悩み』第1部						
3	ゲーテ『若きウェルテルの悩み』第2部						
4	ドイツの民衆本『ファウスト博士』						
5	ゲーテ『ファウスト 悲劇』第1部前半						
6	ゲーテ『ファウスト 悲劇』第1部後半						
7	ゲーテ『魔王』						
8	グリム童話						
9	シャミッソー『影をなくした男』						
10	シュペーリ『ハイジ』前半						
11	シュペーリ『ハイジ』後半						
12	カフカ『変身』						
13	シュリンク『朗読者』第1部						
14	シュリンク『朗読者』第2部、第3部						
15	まとめ、筆記試験						
予習内容 復習内容	予習：講義で紹介する作品以外で楽しく読める文学作品を探す（作者不問）。 復習：講義で紹介した作品を講義後に読む。						
教科書	教科書は使用せず、資料（本文の抜粋）を毎回配布する。						
成績評価	学期末の試験（筆記試験）で評価する。欠席が5回を超えた場合は成績評価の対象外とする。						
実務経験							
その他 特記事項	取り上げる作品は変更する場合がある。 「文学Ⅰ」と「文学Ⅱ」はどちらを先に履修しても構わない。どちらか一つだけの履修も可。						